

(本 社)	甲府市増坪町74	TEL055-241-3151	FAX055-241-8530
(営業所)	上野原市新田661	TEL0554-62-3321	FAX0554-62-3322



常日頃、私共峰岸商会をご利用頂きありがとうございます。2017年も一カ月が過ぎ冬本番の2月になりました。寒い時期なので体調管理には気を付けて頂きたいと思えます。トランプ政権もスタートとなり世界情勢、日本への影響、期待と不安が交錯する中、山梨県にはどの様な反動が起きるのか動向も気になります。

さて、今回は鋼板の中でも扱いやすく、需要の多いSPCCについてお知らせさせて頂きたいと思えます。
(上野原営業所 山田 幸平)



鋼種 Q & A ~ SPCCについて ~



SPCCとは冷間圧延鋼板のことです。S…(steel) P…(plate) C…(cold) C…(commercial)の意味で最も一般的な冷間圧延鋼板とも言われ、ミガキ、コールド、ミガキ鋼板とも呼ばれることもあります。表面は滑らかで見栄えがよいですが、オイルなどにより一時的に錆び難くしているだけのため、加工後は塗装やメッキ処理を行わないとほぼ確実に錆びていきます。一般的な成形性を求められるプレス加工から、絞り加工(深絞りには不向き)まで幅広く使うことができます。プレス加工、パンチ、曲げ加工などに向いていますが、鋼板によって規格値で指定されているパラメータの上と下のばらつきが大きいといわれる鋼板でもあります。

SS400とSPCCを混同される方が多い印象がありますが、製造工程から違う別物になります。

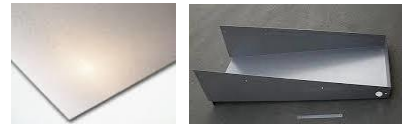
●SPCC 『JIS G3141 冷間圧延鋼板及び鋼帯』と言うことで、冷間圧延で製造される、鋼板又は鋼帯です。ですので板しかありません。使用用途もSS400とは全然違います。

●SS400 『JIS G3101 一般構造用圧延鋼材』

⇒熱間圧延で製造される鋼材で、一般構造用の鋼材として、橋、船舶、車輛、その他非常に多岐にわたり使われる材料です。板としては厚板ですので上記のような大形構造物にも幅広く利用される他、鋼材ですと板として製造及び使用されるだけではありません。型鋼などとしても広く製造・使用されるものです。

【規格】

鋼板の寸法には独特の呼び名があり、サブロク(3'x6' 914x1829)、シハチ(4'x8' 1219x2438)、ゴトウもしくはゴットウ(5'x10' 1524x3048)などと呼ばれることがあります。当社にて扱いが多いのがサブロク(3'x6')になっております。板厚は(0.4以上3.2以下)です。



【主な使用用途】

自動車、車両の外板、家電、弱電機などの外板、部品などに多用される。その他汎用加工など。



★社長のワンポイント★

半世紀と一言で言ってしまうとそれまでなのですが、50年という形は多くのご援助があったからこそこの道だと思っております。人の道、企業の道・様々道がありますが当社もお陰様をもちまして、皆様の多くの叱咤激励また最大級の商いの道に対して、多くの「大縁」をいただいたからこそ、今日に到ったと言う事、感謝の言葉でしかございません。本当に有り難うございます。高度経済成長の中走り始めた昭和42年の年明けの二月、初代峰岸悦郎が始めた鋼専門会社、峰岸商会皆様に多くの情報と材料の扱い方、種類様々お伝えしながら永いお付き合いをさせていただきました。今も懐かしく語られる多くのお客様の会長社長様・・・。「あの当時、日産のダットサンに乗って納品に来ていたぞ」「切断してもらったぞ」「現場で材料の種類について教えてもらいました」等々50年前の事鮮明に教えて下さいませ。まだまだ至らない点不行き届き等々ございますが、山梨で育てられた峰岸商会です。この地で何かお役に立てることは勿論のこと、製造業の一翼を担えるよう最大ご協力していく所存でございます。新たな10年を迎えられるよう事業領域拡大しながら、更に精進して「環境対応会社」としてお役立ちにたてるように社員一同邁進して参ります。50年目の節目としてご挨拶させていただきます。今後ともよろしくご指導のほどお願い申し上げます。

★国内エリア 塚原★

残寒の候、皆様風邪など召されずにお過ごしでしょうか。1月は成人の日前日に甲府で9cm、河口湖は45cmの雪が降りました。西年は何かと災害が起きる年とも言われておりますが、平穏な年になる事を願っております。

1月の国内動向は全体的に大きな落ち込みなど無く動いていたと感じます。半導体に関しては先月お伝えした様に好調の波を維持しており、春先まではしっかり予定があるそうです。県内に限らず県外の動きも好調なようですのでまだまだ忙しく動きそうです。車関係は県内の下請け企業さんの動きも依然変わり無く好調なようで、失速するような情報も出て来ていない状況です。トラック関係に関しましては、生産ベースの落ち込みも無く通常の動きを続けております。機械メーカーはJIMTOF2016での受注量も期待していたよりも下回っているようで、大手メーカーなどでは非常に厳しい状況が続いているようですが、独自で開発製造している小さなメーカーではオリジナル商品にて受注に繋がっている所もあると聞いています。今年も始まったばかりですが、弊いが失速せずにこのまま続くことを願っております。

★都内エリア 望月★

郡内の動向ですが、1月に入り、12月と変わらない状況が続いております。1月20日からトランプ政権が立ち上がりませんが、政治家と言うよりは経済人と言う観点が強く感じますがどういう方向性でいくか不透明であり期待と不安があります。また、米国と中国の摩擦による情勢の変化、TPP不参加など日本を取り巻く環境の変化があり、そしてEUのフランス、ドイツ、オランダなど反グローバル政党の台頭による選挙もあります。世界情勢が変わる年になりそうです。工作機械メーカーに関しては、F社、M社共、現状は変わりないそうです。F社の社員寮新築工事もあと少しのようで、2棟建てております。半導体関係では、T社が好調で1月頭に2月の注文仕事量が限界を超えて依頼がきているそうです。機械製造の種類で忙しい所と普通の所と格差が生じています。郡内における大手半導体関係のA社は仕事量に変化がないそうです。自動車関係のトラック系に関しては、変化がありません。乗用車関係は新部品製造ラインを確立中でこれらいろいろ出てくるそうです。医療、食糧品関係も以前と同様、好調をキープしています。ただ、全体を見てトータル的に厳しい状況は変わらないのが現状です。今後の動向を見て皆様に報告していきたいと思っております。

★上野原エリア 山田★

全体的に一月は仕事量の増加が見えたように思います。昨年度の12月の年末駆け込み以上にバタバタ感が有りました。自動車関係は、横ばいで推移しており、大型車関係の仕事も増減はあるもののほぼ横ばいで推移している状況です。半導体関係は夏まで仕事が続いていくとの嬉しいお言葉を聞いております。実際半導体関係をされている下請様も忙しく稼働されており、外注様に仕事を振って納期を間に合わせている状況のようです。医療機関係も依然好調な動きを見せています。東京・神奈川・埼玉方面も半導体関係、医療機関係は比較的安定している仕事があるようです。しかし、アメリカのトランプ政権の動きを見て少し足踏みをしている大企業が多く有るとのお話を聞いております。そのため、3月辺り不安と話されるお客様が多かったように感じています。山梨の製造業にはどのような影響、または恩恵が出てくるのか、各方面からの情報をしっかり得て、皆様のお役に立てるように行動していきたいと思っております。

安来今昔 『和鋼博物館総合案内から』 Vol.6

(株)峰岸商会 代表取締役 峰岸 一郎

安来の問屋街

明治20(1887)年刊行の「山陰道商工便覧」には出雲(島根県東部)および隣国の伯耆(鳥取県西部)を含めた地域の商家160軒の賑わいが緻密な銅版画入りで紹介されている。その中に安来の金融会社「永盛社」や「回漕会社」が掲載されている。明治10(1877)年設立の「永盛社」は当初から活発な金融事業を展開、当地方の経済活動の拠点であった。また明治18(1885)年設立の「回漕会社」は大阪の回漕店と特約を結び、二隻の大型船舶を運航。安来・大阪を結ぶ航路を確立した。積荷は鉄、鋼、銑、米、生鐵、木綿などであった。ここで紹介されている安来の問屋、金融会社、回漕会社はいずれも良港安来港の利を活かし、当地方の経済発展に大きな役割を果たした。続く

